

令和5年2月 文書質問及び回答

1 質 問 者 我孫子洋昌議員

2 質問事項 下川町の各種計画の進捗、公表および「下川町株式会社」の今後の展開について

質問の内容・要旨	回答
<p>令和元年12月定例会における一般質問において、国から選定を受けた各種計画の進捗、結果の周知について「今後、周知方法について工夫する」との答弁があったが、その後どのような工夫がなされたのか。</p> <p>また、現在進行中のSDGs未来都市計画のうち、吉本興業との連携によって実施されている「プロジェクト下川町株式会社」については、「吉本興業の強みである「コンテンツ力」「プロモーション力」「デジタル展開力」を活用し、下川町の魅力を最大限に引き出し、日本国内やアジア、世界に向けて発信していくことを目指します」とあるが、今後どのような展開を想定しているのかを伺う。</p>	<p>令和元年12月の定例会において、国から選定された各計画における総合的なものがSDGs未来都市計画であり、SDGs評議委員会や政府のSDGs進捗評価検討会において、進捗評価をいただいている一方で、町民への周知は不十分であると認識していたことから「住民への周知方法は工夫する」と答弁させていただいたところです。</p> <p>町民への周知については、SDGs推進町民会議をはじめ、令和3年6月からは、広報しもかわにおいて、SDGsの概要やSDGs未来都市計画に搭載している事業、SDGsの視点から町民の活動に焦点を当てた記事などを連載し、町民にとって特に身近に感じていただける内容を中心にお知らせしているところです。今後におきましても、丁寧にわかりやすく、周知方法を工夫しながら、引き続き汗をかいて参ります。</p> <p>また、株式会社吉本興業と今後どのような展開を想定しているかにつきましては、同社のコンテンツ力、プロモーション力、デジタル展開力を活用し、映画「リスタート」や「しもかわ森喜劇」、フルーツトマト四コマ漫画「下川はるかエイト」、BSよしもとによる町のPRなどに取り組んで参りましたが、今後につきましては、新たなコンテンツを製作し、下川町の取組、観光、特産品をはじめ、様々な紹介をしながら、関係人口の創出に繋げて参ります。</p>